



2023.3

令和4（2022）度 後期学校評価

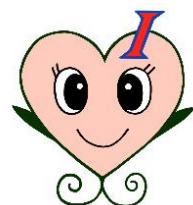
（よりよい学校づくりのためのアンケート調査）

結果の概要

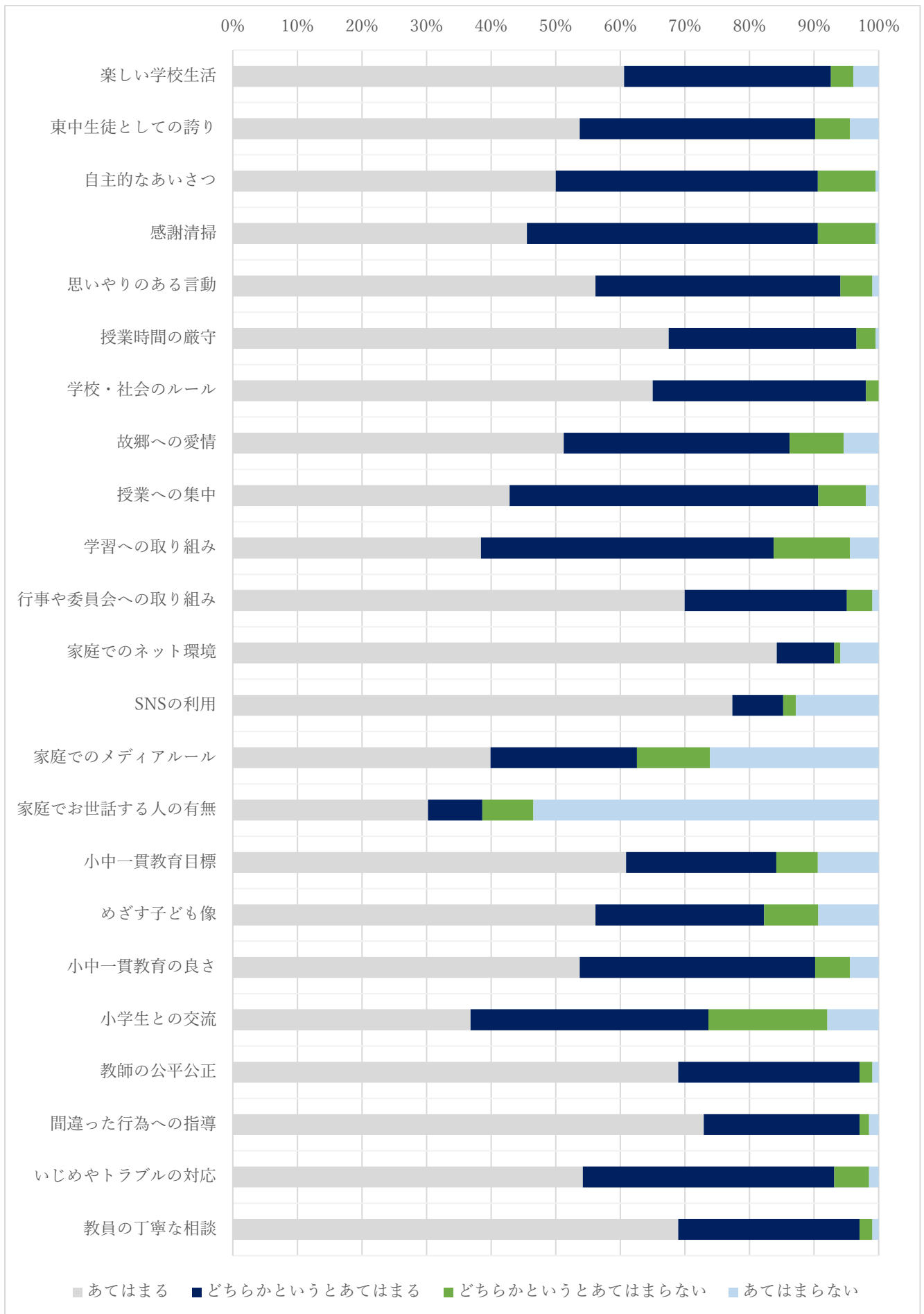


いじめサミット

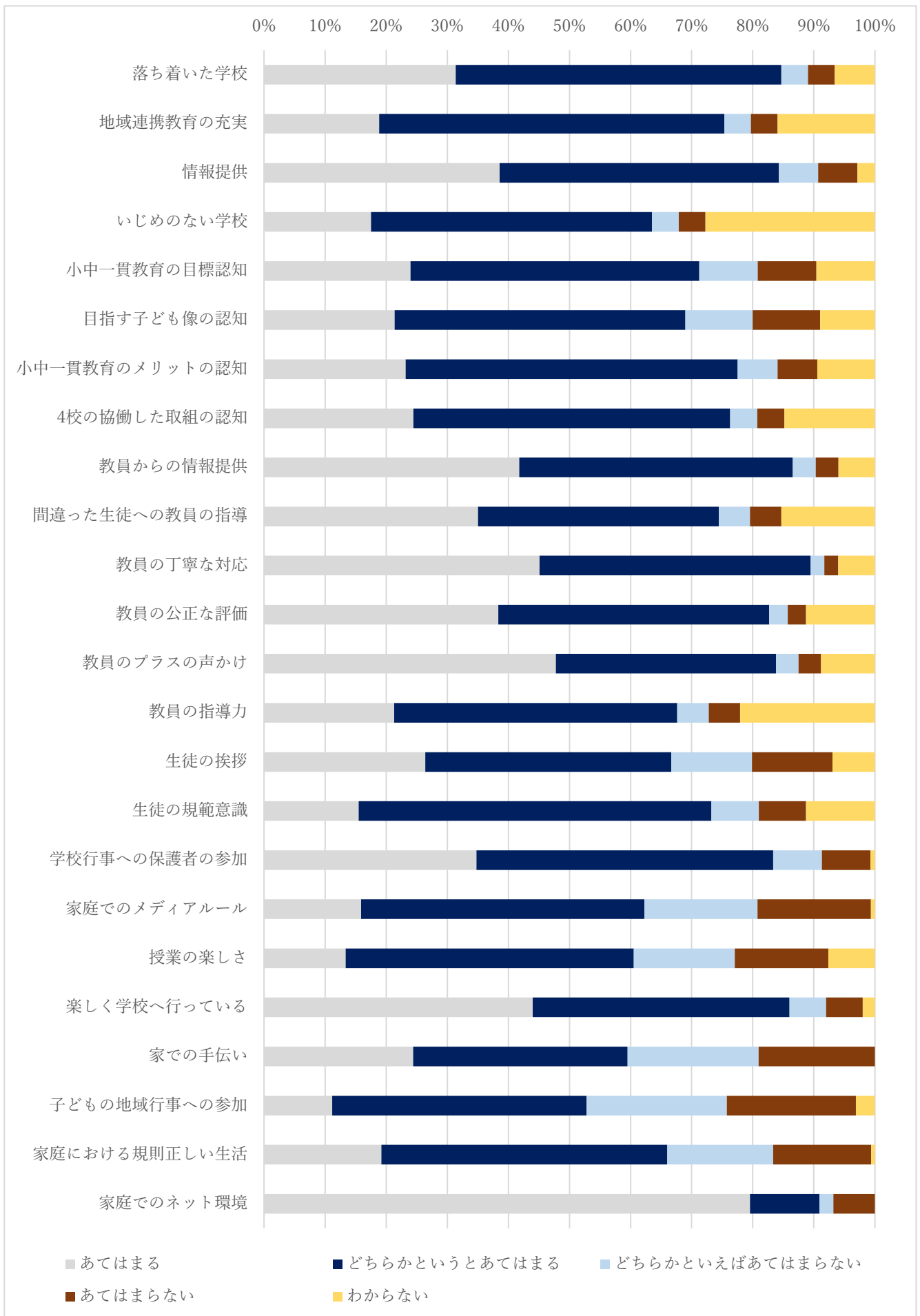
岩国ひがし学園
岩国市立東中学校



令和4年度 後期学校評価 生徒用 集計結果（全校）



令和4年度 後期学校評価 保護者用 集計結果（全校）



◎ アンケート集計結果の概要

- (1) 実施時期 1月10日(火)～1月19日(木)
 (2) 回答者数 生徒：203名 保護者：148名
 (3) 回答率 生徒：82% 保護者：59%
 (4) 集計結果(平均ポイントにおける上位・下位各7項目)

※ 4・3・2・1評価で、満点は4点、平均は2.5点です。

※ 4・3・2・1評価の数値の単位は%です。(小数点以下四捨五入)

① 生徒

上位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	私はネットにつながる端末機を持っている	3.71	84	9	7
2	先生は間違っただ行動を指導してくれる	3.68	73	24	3
3	先生は、公平公正に指導してくれている	3.65	69	28	3
4	先生は丁寧に相談にのってもらえる	3.65	69	28	3
5	私は行事・委員会・係活動に一生懸命	3.64	70	25	5
6	私は時間を守っている	3.64	68	29	3
7	私はルールやマナーを守っている	3.63	65	33	2

下位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	平日のメディア利用時間	1.86	9	12	79
2	家庭におけるメディアルールの設定	2.76	40	22	38
3	平日の家庭学習時間	2.80	31	31	38
4	小学生と活動するのが楽しい	3.02	37	37	26
5	私は分からない学習内容を質問している	3.18	38	45	17
6	目指す子ども像の認知	3.29	56	26	18
7	小中一貫教育目標の認知	3.36	61	23	16

② 保護者

上位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	子どもはネットにつながる端末機を持っている	3.64	80	11	9
2	先生は相談に丁寧に対応してくれる	3.41	48	47	5
3	教師からのプラスの声かけ	3.40	52	40	8
4	学校からの情報発信が充実している	3.33	44	48	8
5	子どもは楽しく学校生活を送っている	3.27	45	43	12
6	間違っただ生徒への適切な指導	3.23	41	47	12
7	東中は落ち着いた学校である	3.20	34	57	9

下位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	子どものスマホなどの利用時間	1.83	6	13	81
2	子どもの家庭学習時間	2.53	19	27	54
3	子どもは地域行事に参加している	2.44	12	43	45
4	家庭におけるメディアルールの設定	2.68	16	47	37
5	子どもは家で手伝いをしている	2.65	24	35	41
6	子どもは基本的な生活習慣が身についている	2.70	19	47	34
7	子どもは授業が楽しいと言っている	2.63	15	51	34

(5) 項目ごとの結果について

肯定評価（4・3の合計）が90%以上は、
生徒が25問中14問、保護者が26問中7問であった。
 それが80%以上となると、
生徒が19問、保護者が16問で、おおむね肯定的な評価が多かった。
 しかし、肯定評価が50%に満たない項目は、生徒が3問、保護者が2問
 であった。いずれも前期に引き続いた課題（スマホ等のメディアの利用時間、家庭学習時間等）となっており、改善に向けた取り組みが必要となっている。

【生徒、及び、保護者共通質問項目】 ※ ↘・↗は今年度前期評価との比較

	共通質問	生徒 (R4前期)	生徒 (R4後期)	保護者 (R4前期)	保護者 (R4後期)
1	先生の適切な指導	3.75	3.68↘	3.22	3.23→
2	楽しい学校生活	3.69	3.49↘	3.28	3.28→
3	ルール・マナー	3.72	3.63↘	3.11	2.91↘
4	先生の公正な判断・評価	3.63	3.65→	3.25	3.33↗
5	あいさつ	3.49	3.40↘	3.10	2.86↘
6	思いやりのある言動 いじめのない学校づくり	3.53	3.49→	3.14	3.06↘
7	小中一貫教育 よい点・メリ ットの理解	3.44	3.39→	3.19	3.04↘
8	小中一貫教育 めざす子供 像の理解	3.27	3.29→	3.17	2.87↘
9	家庭学習時間	2.39	2.80↗	2.42	2.53↗
10	小中一貫教育 目標の理解	3.42	3.36↗	3.24	2.95↘
11	スマホなどの利用時間	1.81	1.86→	1.90	1.83↘

【その他の質問項目】 ※「5ポイント上昇」とは、「5%上昇」ということです。

生徒

- 生徒自身の学校生活に関わることや教職員の指導支援について、どの質問に対しても、肯定的な意見が9割程度となっている。（前期と同様の傾向）
 ただし、前期と比較し、学校生活の楽しさに関して前期が3.69であったものが、後期は3.49と0.2ポイントであるが低下している（4点満点）。学校生活に関わる質問全般に対して、前期と変わらない回答、もしくは0.1ポイント程度であるが低下している。
- 前期と比較して、家庭におけるネットに接続できる環境については、前期3.9から後期3.7へと低下している。前期から後期の間に、ネット環境がなくなるとは考えにくいため、要因は不明である。
 SNSの利用が、前期3.3から後期3.5へと0.2ポイント上昇している。前期と比べ、SNSを利用する生徒が増えてきていると考えられる。また、家庭でのメディアに関するルールを決めている家庭に関しては、2.8ポイントと低い状況である。家庭における子どもと共に設定するルールづくりが必要であると考えます。
- 小中一貫教育に関する生徒の自己評価についても、前期との違いは見られなかった。ただし、前期と同様に、小中一貫教育に関する質問で、最もポイントの低いのが、小学生との交流に関する質問である。前期同様に3.0ポイント程度であ

り、小学生との交流の目的やよさを実感させる活動や交流後の振り返りが必要である。また、生徒自身で企画し運営する交流も積極的に組み入れていくことが重要である。

- 教職員に関する生徒の評価である。前期と同様に、9割5分以上の高い肯定率であり、大きな変化は見られなかった。ポイントも、3.5以上あり、今後も教職員と子ども達の信頼関係を基盤とした教育活動の充実に努めたい。
- 前期と後期の学校評価において、顕著な相違は、平日における家庭学習時間であった。前期と比べて、2時間以上学習する割合と70分以上2時間未満学習する割合の生徒がそれぞれ、1割程度増えている。(ただし、30分未満の学習時間の生徒の割合は前期と変わりがない)

このことは、受験に向けて9年生の学習時間が顕著に増えたことによると考えられる。前期、2時間以上学習している9年生は23%であったのに対して、後期には、52%になっている。やはり、学習に向けた動機づけが、重要である。

- 平日のメディア利用時間は、前期と後期において、大きな変化はなかった。ただし、2時間以上メディア利用していた生徒が、5%ではあるが、前期よりも割合が低くなっている。前期のアンケートでは、2時間以上メディアを利用していた9年生の割合は、51%であったのに対して、後期は、34%に低下している。やはり、学習時間が伸びたことで、メディアの利用時間も少なくなってきたことが要因として考えられる。受験という目標が生徒自らのメディア抑制につながったのではないかと推測する。

保護者

- 今年度より、選択肢に「わからない」を加えることで、保護者に学校からの啓発及び広報が十分になされているかどうかの検証を行うこととした。前期と比較し、若干(3~5%)「わからない」が増加した項目があり、年度末に向けて、積極的な広報を行いたい。
- 「わからない」と答えた項目で、2割を超えたのは、「いじめのない学校」「教師の指導力」であった。「教師の指導力」については、質問項目を保護者が考えやすい内容となるように検討したい。なお、「いじめのない学校」については、全国的に調査を行っている生徒指導上の諸課題に関する調査結果(本校分)を適切に保護者へ伝えていくことも考えなければならない。
- 学校の対応等に関する質問に対しては、どの質問項目も、肯定的な意見が8割程度となっている。前期と大きな違いは見られないが、「わからない」が増加した分だけ若干(3~5%)低下している。
- 肯定的な意見が9割を超える項目は、「教員からの情報提供」「教師の丁寧な指導」となっており、その他の項目も、「わからない」を除くと肯定的な意見が9割を超えている。
- 家庭におけるスマホやテレビの視聴時間のきまりをつくっている家庭は、6割程度となっており、前期とほぼ同様の肯定率である。家庭におけるメディア利用時間等に関するきまりが、進んでいないことがうかがわれる。
- 「地域の行事に参加している」に関して肯定的な回答は、5割程度であり、前期と変わらない状況である。土曜夜市やえびす祭等地域の行事が再開しているが、参加しているという実感につながっていないことも考えられるため、地域行事への積極的な参加を促すとともに、その意義を伝えていきたい。
- 生徒のアンケート結果では、家庭学習時間は、9年生の受験勉強が大きな要因となり、全体として学習時間が長くなってきた。しかしながら、保護者の視点からは、若干(5%程度)改善されているが、顕著な改善とまでは至っていない状況がうかがわれる。保護者が思う家庭学習の姿勢と生徒が思う家庭学習の姿勢に違いがあることも考えられる。